

中里村立志伝考 (四)

柳直春

寛政十二年九月十七日、即ち二、精禎、千代松の三人が駕上の人となる事を盟つての翌々日、千代松は部落の人々の国から聞かされた。二郎は滋眼寺に入り精禎又家を出て十日町に去つたことを。

それで、千代松の胸中、新に猛然たる闘志にかき立てられた。だが、千代松はずつとそれを押えた。二郎精禎のように家を出てゆくことは簡単だ。しかし、自分には、自分の家即ち貞野郷庄屋という大切な仕事があつた。それを投げ捨て、まで駕中の人となることに、一種の躊躇を感じたからだつた。だが三人の盟を放棄した訳ではなかつた。ただ自分の庄屋としての仕事を通して駕中の人たることを決意したのであつた。それは最も困難な望みであつた。しかし千代松はそれを決意したのであつた。

千代松は安永六年、貞野郷庄屋清右エ門の長子として生まれた。生まれながらその手でおむつをつかんため、清右エ門、これを大

いに不吉として易者に占なわせた。曰く、これ不吉にあらずして、四隣を掌握するの非なり、将来人となりて、必ず大いに名をなさんと。

清右エ門、これを非常に喜び、大切に養育した。長ずるに従い、身長衆に勝り漢籍、経書を読み、手習わせれば書を能くし、珠算又他に勝りして、清右エ門を増々喜ばせた。

そんな千代松であつてみれば、増々自分の決意した中で地味に、庄屋としての努力を重ねていた。

文化十一年、家督を相続し、父の名を襲名して清右エ門と改め、名実ともに貞野郷庄屋となつた。

当時頼城の川浦に幕府直屬の代官所があり、貞野郷もその管轄であつた。

「寛政六年、寺石、貞野、高島、上新井、宗で、新保宮下新田、伊達、大黒沢、小黒沢、川治、仙田、十二ヶ村協野町附となる。

文化十三年、馬場、新保宮下新田、高島、伊達、田沢、田沢新田、倉俣、船

渡、中深具、芦ヶ崎、赤沢谷内、子種、大井平、宮野原、寺石、外丸、結東の十九ヶ村上野国岩陣屋の預所となり、文政二年八月に至り、脇野町附となる」(古文書より)時の代官は石原清左エ門と云つた。清右エ門とは時折、公務上面接もあり、文書の京交も頻繁となつていつた。

その中、代官は清右エ門の庄屋としての努力とその人格、そしてその能書、珠算の上手なるを認め、貞野郷、田島郷、仙田郷の三ヶ郷の大庄屋に任じた。清右エ門は、それを非常に多し、大いに努めたので、事増々著しく、信、いよいよ

文化十三年、四十才にして代官新内勤を命ぜられた。代官石原清左エ門を清右エ門。その名の粉らわしり、脇野町附となる」(古文書より)所のから条右エ門と改名した。手腕力量共に勝れ、又一倍の努力をした所から、代官事故ある時は、代官代理として出張した。

此の時、初めて駕中の人となり往來することになつた。これに前記二、精禎、三郎の三の声を挙げたのだった。古老の口々に「殿様の行列とまではゆかなかつたが、とにかく、槍薙刀の供揃いでお駕籠に乗つて通つてたいしたものだった」と。(構成宮永久男)

露丘
灯下親し子は宿題のノット
積む 大泉
子の夕餉つぐを背にきく大
根まく 紫紅
美しき柳の娘や秋晴れに
川流
箱の蕪を残してリヤカー通
りすぎ 一声
子に甘え一と日の生活暖炉
燃ゆ

日伊中里支部
清流
丁寧にたよみて蚊帳の別れ
かな 永流
ガラス戸に蜂まつわりつ晩
秋の屋 桂仙
落葉焚くみの灰となる事や
がて 秋陽
蕪紅葉、座せば遠けき白き
峰 春雷
里帰り夕日に映える草紅葉
哲松
露にぬれ、たじ合掌す立地



<か◇く◇て◇冬◇来◇る◇>
雪の下から大根取り (干溝地内)



発行所 新中里村公所
印刷所 中里町十日

政策論争のはて 衆議院議員選挙終る

共産党進出

去る十一月二十日全国一斉に衆議院議員総選挙が行われた。新潟県第四区における当選者は、田中、猪俣、塚田の再選で終末を上げた。本村における開票結果は次の通りである。

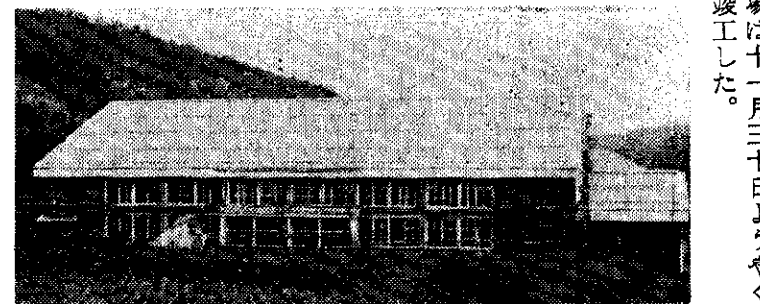
田中 彰治	一、八一〇票
猪俣 浩三	一、二〇二票
塚田 十一郎	七七六票
木原 正雄	二二四票
鈴木吉次郎	二二六票
寺島 泰治	四八二票
なお前回得票数次の通り	
田中 彰治	一、九七一票
猪俣 浩三	一、三四五票
塚田 十一郎	六一一票
鈴木吉次郎	五一五票
寺島 泰治	一一三票

以上であるが、これにより保守系一、五八九票、革新系一、一三三票、共産系一、一三三票、無効票が五十四票も今なお投票日当日の、あの棄権防止をスピーカーでわざと叫びあるいた風景と考え合せ、皮肉である。開票を見

新系二、一三四票で前回の保守系二、五八二票、革新系一、九八三票からして、やゝ革新系が伸びを示している。

候補者別得票数に於ては田中が一六八票増加した外、革新系では民主社会党候補木原が六票減少したことにより、鈴木、猪俣の票が減少したことは事実であり、共産党の寺島が三五九票も増えたことは、今後の村内政勢力分野に影響がおよぼされるものと見られる。

また、五十四票も今なお無効票があつたことは、投票日当日の、あの棄権防止をスピーカーでわざと叫びあるいた風景と考え合せ、皮肉である。開票を見



倉俣中学屋体完成なる

総工費七四五万円
去る七月二十日着工された倉俣中学校屋体内体操場は十一月三十日ようやく竣工した。

これは延坪四三三、三三五坪、雪どめ板がこいなどあわせて総工費七、四五〇、〇〇〇円である。

尚グラウンドも五間十間を八間十間に拡張されたがその整地費は一五〇、〇〇〇円である。

(写真は完成された倉俣中屋体全影)

年賀交換会開催

一月二日午前十時
挙礼廃止し、生活改善を目ざす恒例の年賀交換会を来る昭和三十六年一月二日午前十時より田沢小学校に於て行いますので、多数御参加下さるよう御協力下さい。

尚参加申込締切は十二月二十五日、区長へ会費前納下さい。

国民年金

届出期間をすでに二ヶ月を過ぎた、中里村の届出状況を調査した。国民年金に対する村民の空気をつかんでみた。数々の問題を残しながらも届出の率は日増しによくなつて来ているようだ。一方部落については自主的な「国民年金研究会」などを行つて届出を拒もうとしていたり向きが見うけられる。

また一方役場の係員は反対運動に対抗してか届出の促進に懸命である。いづれにしても日本国民に義務づけられたこの制度は来春四月から施行されることになつて二つの考え方があつて来ているようだ。一つは国の政治につらなる向のもの、実際の戸々の経済を考えた場合の反対、いわゆる来年四月から毎月三〇〇円以上もの拠出が、困難だとしてくるもの。しかし後者に於いては国の対策は相当幅の広い保険料免除制度を設けていくことは確かだ。なに於て被保険者の四割強もの免除対象があるのだ。このへんの研究はもうなされてきているのだろうか、十月に届出を済ませた者についてはすでに国民年金手帳が

国保から

最近療養費(医者にかけた経費の全額を支払つて村の国保からその半額をもらうもの)の負担が非常に多くなつており、療養費は事務を複雑にするばかりでなく切角みなさんがお支払いになつた分については国の補助対象にならず、どちらから見ても非常に損な訳であります。医者にかけた場合は必ず保険証を持つてゆき、かゝつた分の半額だけ支払つて後は村の方に医者から請求して貰うようにして下さい。

時事用語

◎自然増収
年度当初見積られた租税収入を超えて国庫に入つて来ると見込まれる収入、すなわち何等かの事情によつて当初の見込より増加する部分です。今国会に提出された補正予算の財源の大部分はこの自然増収であります。

国保から

最近療養費(医者にかけた経費の全額を支払つて村の国保からその半額をもらうもの)の負担が非常に多くなつており、療養費は事務を複雑にするばかりでなく切角みなさんがお支払いになつた分については国の補助対象にならず、どちらから見ても非常に損な訳であります。医者にかけた場合は必ず保険証を持つてゆき、かゝつた分の半額だけ支払つて後は村の方に医者から請求して貰うようにして下さい。

